



2019年4月

地域自然情報研究会



深層学習による空中写真を対象とした土地被覆分類の試み

今井 優 氏 (立正大学 地球環境科学部 外部研究員)

近年、市民調査等の貢献によって生物のモニタリング情報が蓄積されてきた。これらの情報と生息環境の広がりの変化を照合することは個体数変化の要因や生息条件を考えるうえで役立つが、調査時点ごとに空中写真から土地被覆の面積を計測するには判読のスキルと労力が必要とされる。そこで、深層学習の手法を用いて空中写真を自動的に土地被覆分類することができないか検討した。教師データ作成手法を交えながら試行結果を紹介する。



地理院タイル(写真)

開催日時

2019年4月7日(日) 15:30~17:30

参加費

500円(ただし、GCN会員は無料)

お申し込み・お問い合わせ

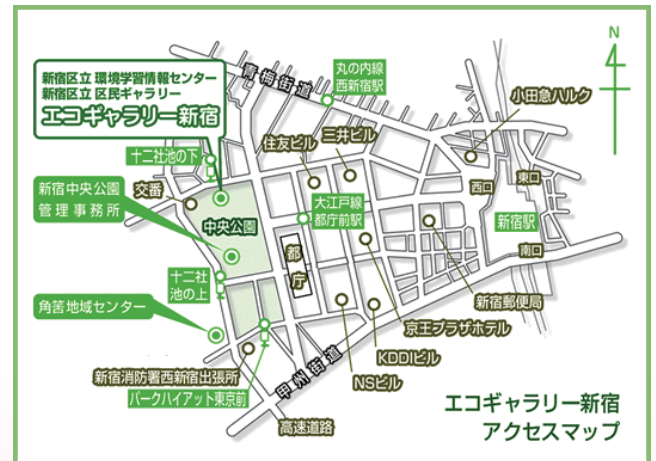
当NPOのホームページ(下記)よりお申し込み下さい。

<http://www.geo-eco.net/>

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
(gcnken@gmail.com 担当: 梶並)

会場案内

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室
(エコギャラリー新宿)



地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、年3~4回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。



NPO法人
地域自然情報ネットワーク
The Geoeological Conservation Network

NPO法人地域自然情報ネットワーク(GCN)は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。

<http://www.geo-eco.net/index.html>

